

2025年2月期第3四半期累計期間 決算補足資料

2025年1月10日

1 当第3四半期累計期間業績概要

2 サステナビリティの取組み

※Appendix

(単位：百万円)

	2025年2月期 第3四半期累計期間		2024年2月期 第3四半期累計期間		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期差	前年同期比
売上高	151,751	-	138,892	-	+12,859	109.3%
売上総利益	97,508	64.3%	89,721	64.6%	+7,787	108.7%
営業利益	5,675	3.7%	6,101	4.4%	▲425	93.0%
経常利益	6,256	4.1%	6,573	4.7%	▲317	95.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,331	2.2%	4,338	3.1%	▲1,007	76.8%
EBITDA*	10,721	7.1%	10,802	7.8%	▲81	99.2%

※EBITDA：営業利益＋減価償却費およびのれん償却費

売上総利益：牛肉、米価格等の増加に伴い原価率前年差+0.3%

営業利益：海外の人件費を中心としたコスト上昇が影響し計画は上回るも減益

当期純利益：前年の遊休不動産売却益等により減益

EBITDA：営業利益減益の影響（設備投資額増加に伴い、減価償却費が増加）

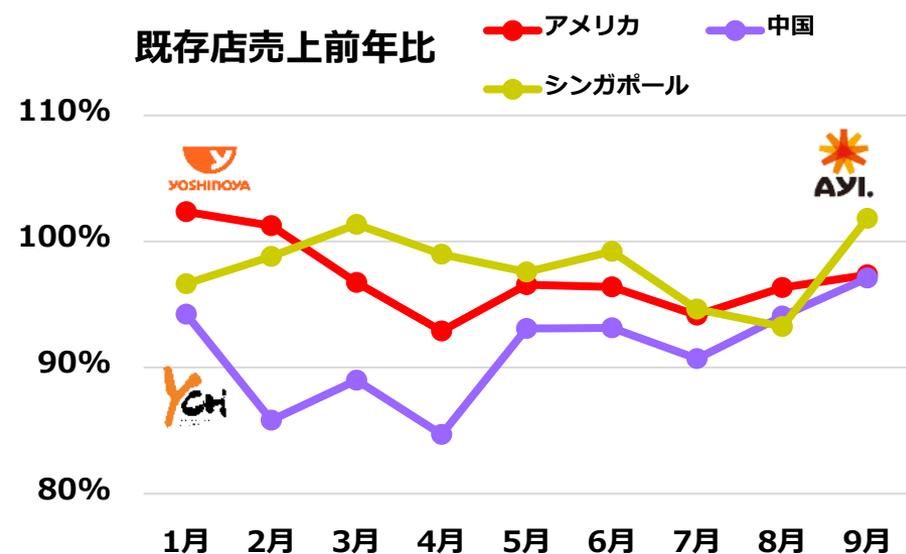
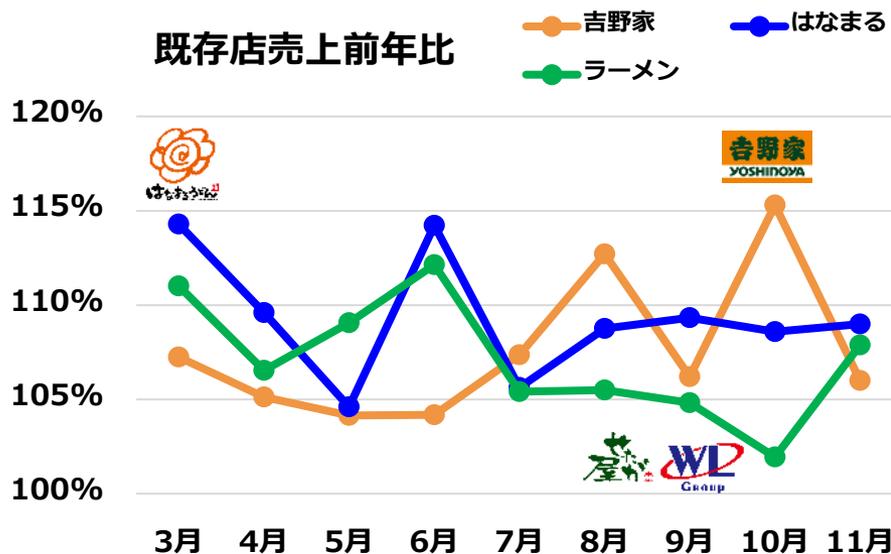
既存店売上高前年比

	1Q	2Q	3Q	3Q累計
全社	104.9%	106.2%	106.7%	105.9%
吉野家	105.5%	108.2%	109.2%	107.7%
はなまる	109.4%	109.3%	109.0%	109.2%
ラーメン	108.9%	107.4%	104.8%	107.0%

全社は海外の1-9月を合算集計

	1Q	2Q	3Q	3Q累計
海外合計	97.3%	94.2%	94.4%	95.4%
アメリカ	100.0%	95.3%	95.9%	97.0%
中国	89.7%	90.3%	93.6%	91.2%
シンガポール	98.9%	98.6%	96.5%	98.0%

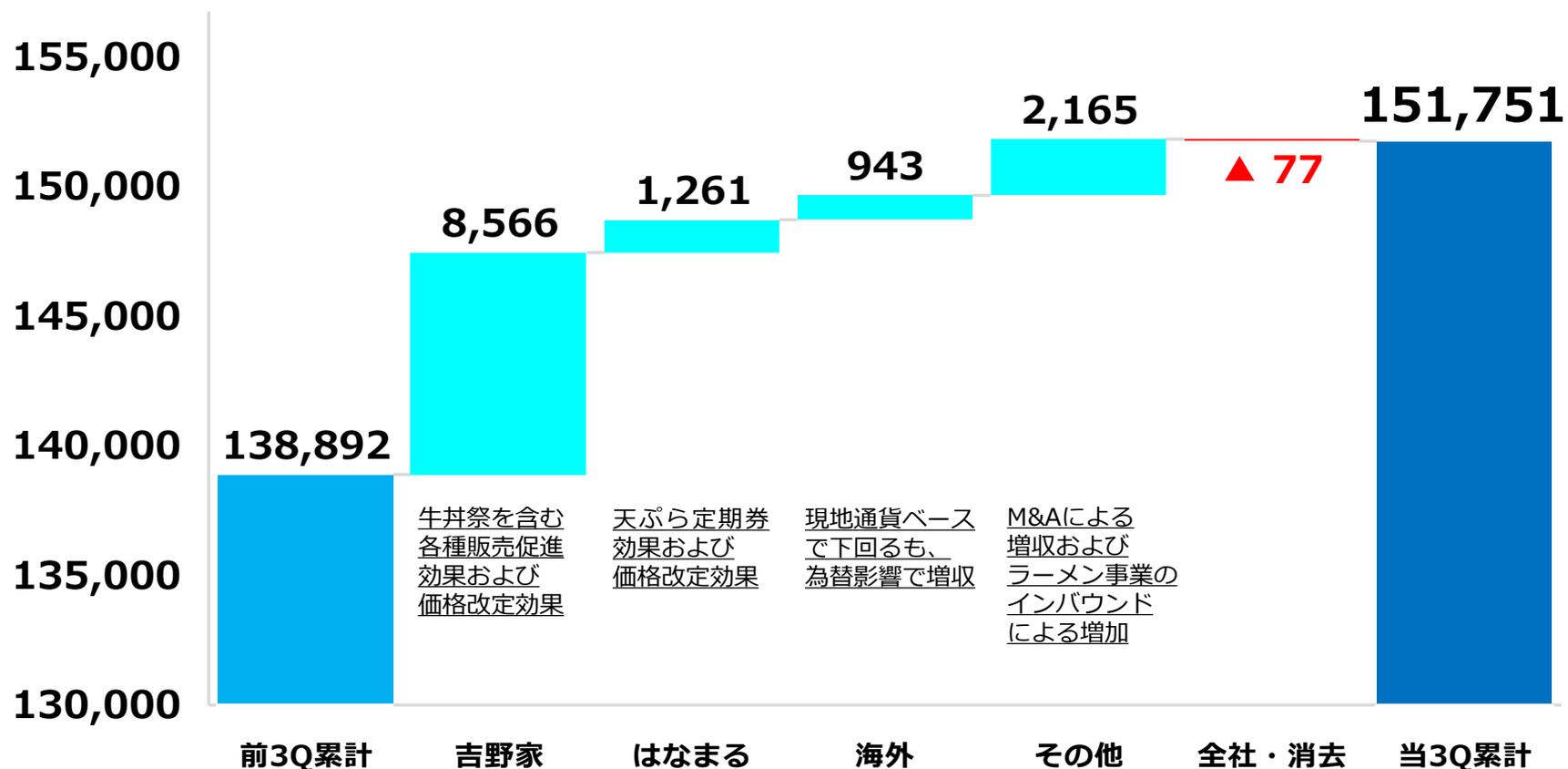
海外は現地通貨ベース



全セグメント増収 前年同期比 **109.3%**

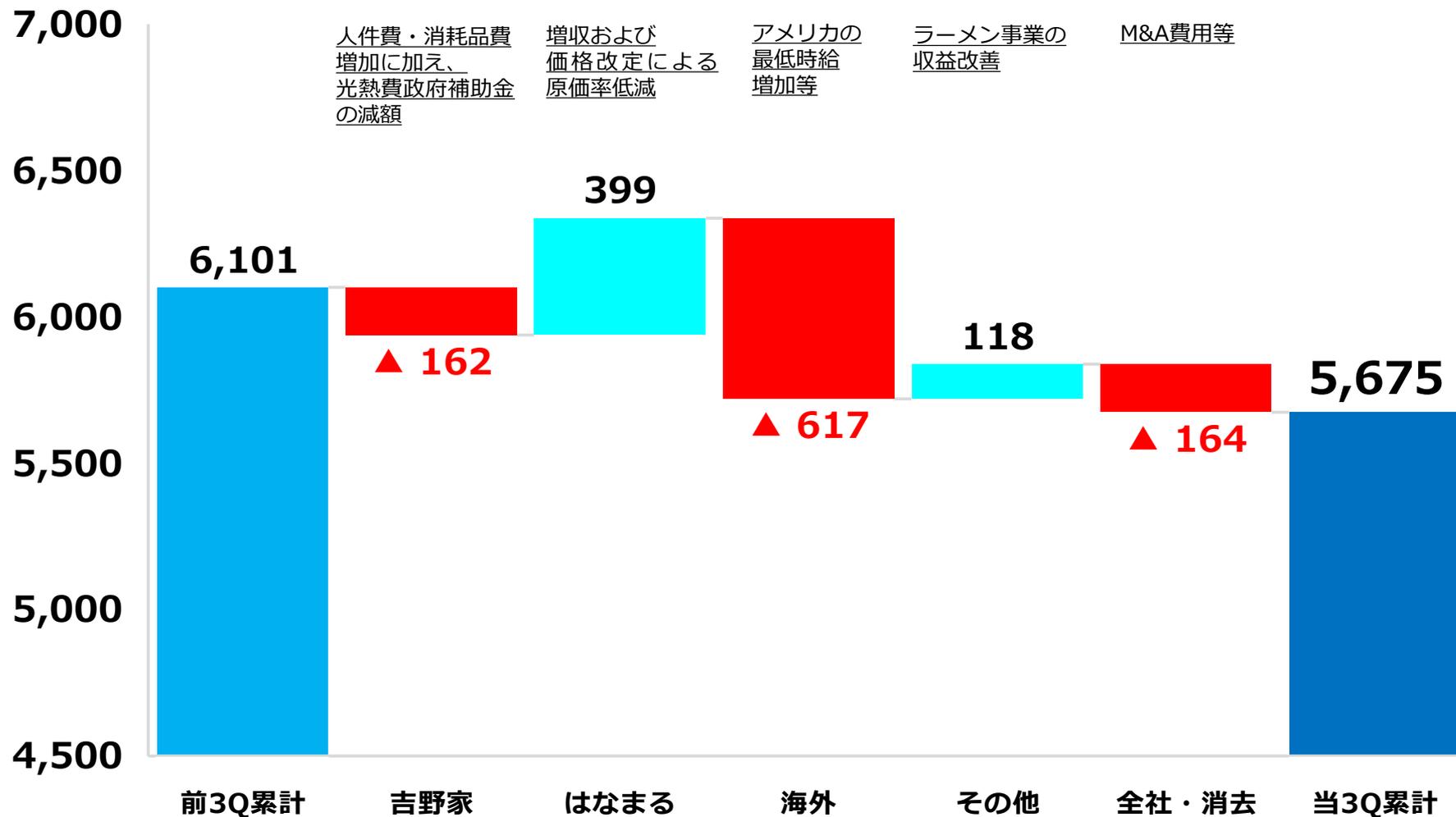
前年同期比 吉野家 109.2%、はなまる 105.8%、ラーメン161.0%
海外 104.7% (為替換算後)

(単位：百万円)



セグメント別営業利益実績

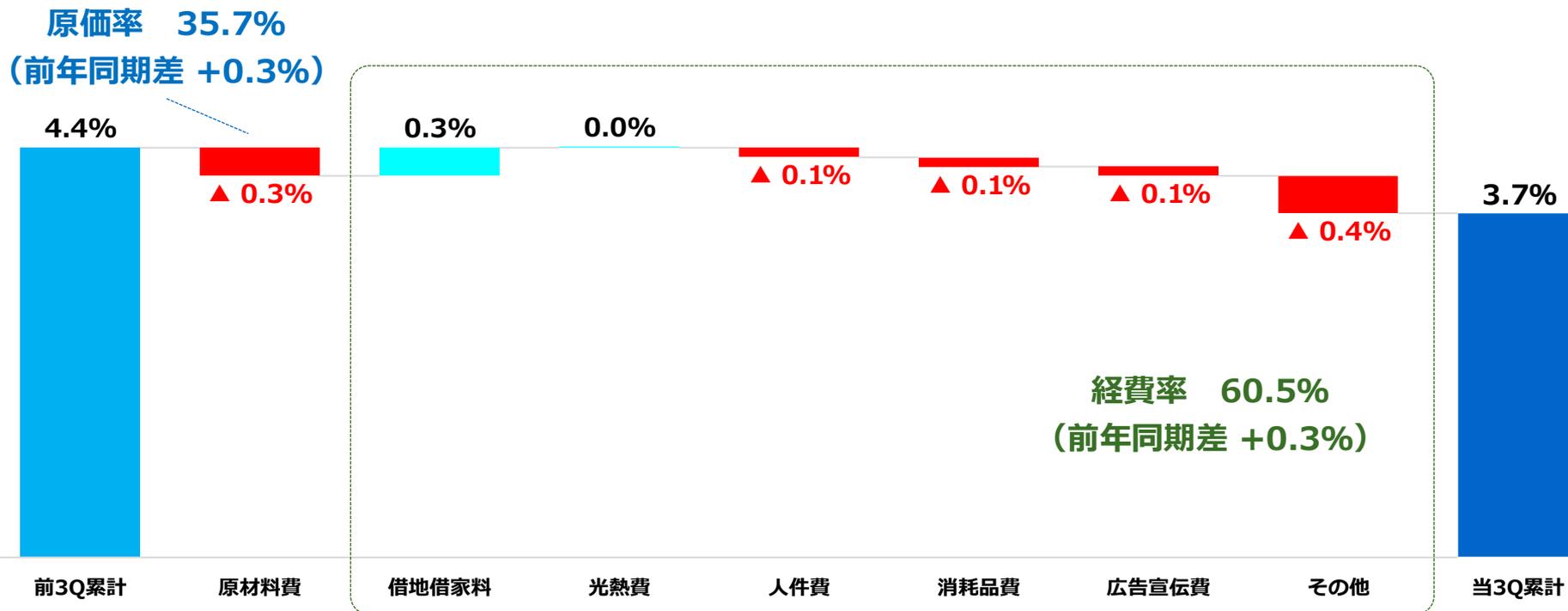
(単位：百万円)



営業利益率の増減要因

営業利益率：前3Q累計 4.4% → 当3Q累計 **3.7%**（前年同期差 ▲0.7%）

※前年差…1Q：▲1.4%、2Q：+0.1%、3Q：▲0.7%



改善要因

- ・売上高増加による固定経費率の低減
(主に地代家賃)

低減要因

- ・原価率：原材料高騰（牛肉、米）による上昇
- ・人件費：先行的な賃上げ、店舗の時給改定の影響
- ・消耗品費：ユニフォーム全店切替（吉野家）
- ・その他：M&A費用、店舗配送費用の影響

セグメント別出退店実績

	前期末	出店	退店	当3Q累計	増減
吉野家	1,229	37	17	1,249	+20
はなまる	418	10	10	418	+0
海外	994	67	77	984	▲ 10
その他	125	11	6	130	+5
グループ計	2,766	125	110	2,781	+15

【吉野家】

◆テイクアウト・デリバリー専門店は収益性を鑑みて、同形態の出店基準を厳格化

新サービスモデル店 : 75店舗増加し、487店舗（内、24店舗出店）
テイクアウト・デリバリー専門店 : 8店舗増加し45店舗

【はなまる】

◆吉野家同様に出店基準の見直しを行い、収益性の高い物件中心の出店を行ったことにより出店計画数未達

【海外】

◆中国の経済不況により、出店抑制

セグメント別設備投資実績

(単位：億円)

	前3Q累計	出店	改装	その他	当3Q累計	増減
吉野家	47.8	18.4	36.8	6.1	61.2	13.3
はなまる	5.5	4.0	5.5	0.2	9.7	4.2
海外	16.5	2.9	12.1	4.5	19.5	3.0
その他	2.5	1.5	0.8	1.2	3.5	1.1
工場、デジタル関連	4.3	-	-	5.6	5.6	1.4
グループ計	76.5	26.8	55.1	17.6	99.5	23.0

【吉野家】

◆年間投資計画106億円に対し、進捗率57.7%

※前年差：出店+3.8億円、改装+5.3億円、その他+4.2億円（クレジットカード端末費など）

【はなまる】

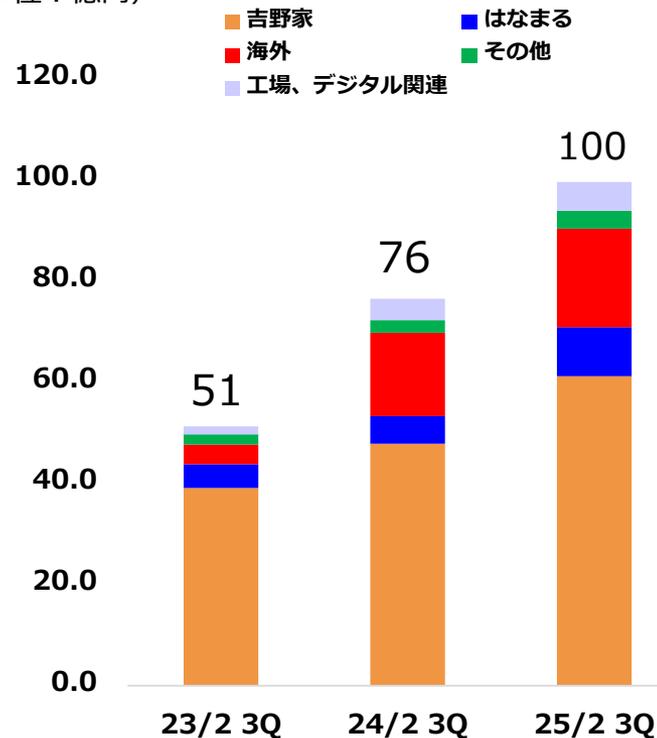
◆年間投資計画19億円に対し、出店数の計画未達により進捗率51%

【海外】

◆年間投資計画28億円に対し、出店数の計画未達により進捗率70%

設備投資推移

(単位：億円)



【貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期末	前期末	増減
流動資産	39,514	43,751	▲ 4,237
現金および預金	21,245	27,346	▲ 6,100
その他	18,268	16,405	+1,863
固定資産	75,878	69,185	+6,693
有形固定資産	51,577	44,965	+6,611
無形固定資産	2,921	2,788	+132
投資その他	21,379	21,430	▲ 51
資産合計	115,392	112,936	+2,456

	当第3四半期末	前期末	増減
流動負債	34,244	30,847	+3,397
短期借入金	4,050	1,655	+2,394
1年内長期借入金	7,684	7,192	+492
その他	22,509	21,998	+510
固定負債	17,587	21,239	▲ 3,652
長期借入金	6,110	9,535	▲ 3,424
その他	11,477	11,704	▲ 227
負債合計	51,831	52,086	▲ 255
純資産	63,561	60,849	+2,711
負債・純資産合計	115,392	112,936	+2,456

【キャッシュフロー計算書】

【財務関連指標】

	当第3四半期累計	前第3四半期累計	増減
営業CF	8,843	15,474	▲ 6,631
投資CF	▲ 10,736	▲ 6,060	▲ 4,676
財務CF	▲ 4,624	▲ 7,016	+2,391
現金及び同等物 期首残高	26,275	23,396	+2,878
現金及び同等物 期末残高	19,943	26,021	▲ 6,077
FCF	▲ 1,893	9,413	▲ 11,307

	当第3四半期末	前期末	増減
自己資本比率	54.6%	53.4%	+1.2%
D/Eレシオ ※1	0.28	0.30	▲ 0.02
ネットD/Eレシオ ※2	▲ 0.05	▲ 0.15	+0.09

※1 D/Eレシオ：借入金÷自己資本 ※2 ネットD/Eレシオ：(借入金-現預金)÷自己資本 ※リース負債を除く

【純資産増加の要因】 ※貸借対照表前期末差

- ・利益剰余金+20億円、為替調整勘定 +5億円

【投資支出増加の要因】 ※キャッシュフロー計算書前年差

- ・成長に向けた店舗投資およびM&A +47億円

1 当第3四半期累計期間業績概要

2 サステナビリティの取組み

※Appendix

令和6年度 食品ロス削減推進表彰
環境事務次官賞

株式会社吉野家ホールディングス

食材加工時に廃棄される規格外の玉ねぎ端材のアップサイクル、
ならびに持続可能なスキーム構築

「牛丼」に使用する玉ねぎの加工および規格外端材のアップサイクル



スタートアップ企業との協業により「過熱蒸煎乾燥機」を導入し、規格外の玉ねぎ端材の回収から粉末化までを一貫して行い、無駄を無くした有効活用を実現。

フードロス対策を持続可能な取組みとするため、粉末化後の乾燥パウダー製品を全て同社が買い取るという、無理なく両社が続けられるスキームを構築しました。

フードロス対策となったことに加え、年間約180トン以上の玉ねぎ規格外端材の有償廃棄がなくなり、経費削減も実現しました。



一 吉野家牛丼レクリエーション 第54回食品産業技術功労賞マーケティング部門受賞 一

食品産業技術功労賞
マーケティング部門受賞

株式会社吉野家ホールディングス

咀嚼・嚥下機能が低下した方が美味しく楽しく
牛丼を召し上がることができる
「吉野家のやさしいごはん」シリーズを用いた取り組み



【高齢化社会の中、一生涯、食の楽しみを
失うことがない社会の実現を目指して】

高齢になると咀嚼・嚥下能力が低下して通常食を食べることができなくなり、食欲が低下するなど高齢者の低栄養が課題となっている中、柔らかく加工した「吉野家のやさしいごはん」を介護施設等で楽しく食べるレクリエーションを2017年3月以降随時実施しております。



「第13回健康寿命をのばそう!アワード」で 厚生労働省 健康・生活衛生局長 優良賞を受賞

厚生労働省 健康・生活衛生局長
優良賞受賞

株式会社吉野家ホールディングス

全国規模で健康的な食環境づくりに貢献
うまい、やすい、健康の「牛丼ON野菜」の展開



「牛丼ON野菜」は、一食の理想のタンパク質量と成人が1日に必要とする野菜量（350g）の4割超を摂取することが可能であり、スマートミール®の認証を受けています。

特に、健康や生活習慣病予防を意識した食生活を送る方や牛丼を野菜と一緒に食べたい方などから支持を得ており、手軽に主要栄養素のバランスのとれた食事を摂取できる機会を提供しております。



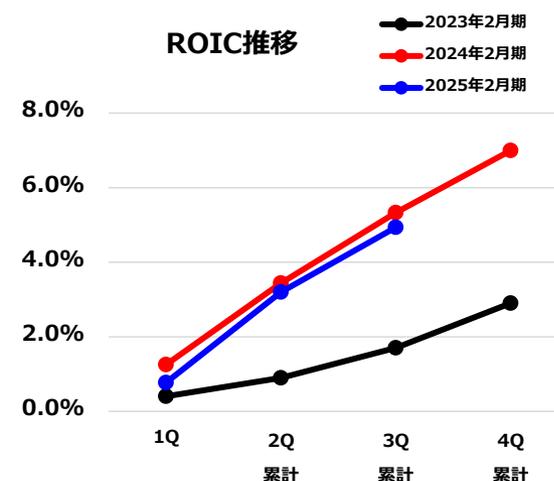
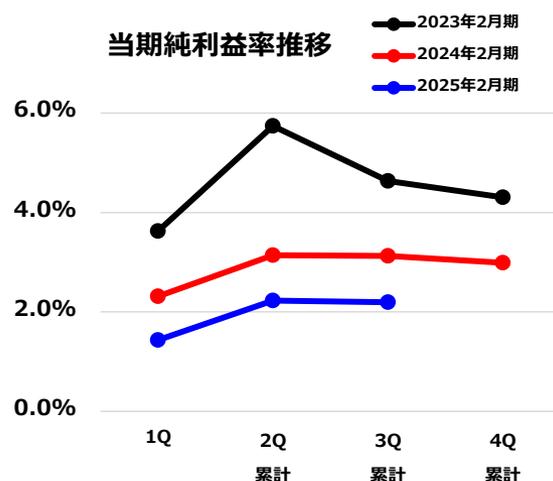
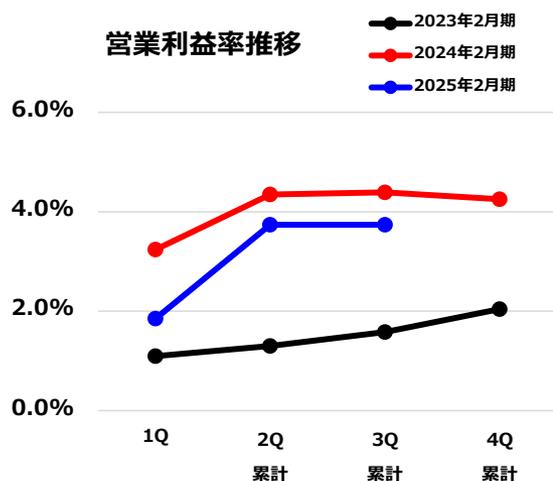
1 当第3四半期累計期間業績概要

2 サステナビリティの取組み

※Appendix

業績推移（3年間）

科目	2023年2月期／3Q		2024年2月期／3Q		2025年2月期／3Q	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	124,742	109.9%	138,892	111.3%	151,751	109.3%
販管費	78,692	106.1%	83,619	106.3%	91,832	109.8%
営業利益	1,969	141.1%	6,101	309.8%	5,675	93.0%
当期純利益	5,776	93.8%	4,338	75.1%	3,331	76.8%
総資産額	110,545	100.1%	113,168	102.4%	115,392	102.0%
純資産額	55,103	118.4%	60,103	109.1%	63,561	105.8%
営業利益率	1.6%	128.3%	4.4%	278.3%	3.7%	85.1%
当期純利益率	4.6%	85.3%	3.1%	67.5%	2.2%	70.3%



セグメント別実績

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2025/3Q	2024/3Q	前期比	2025/3Q	2024/3Q	前期比
	当期	前期	差異	当期	前期	差異
吉野家	102,109	93,543	8,566	5,709	5,871	▲162
はなまる	23,190	21,929	1,261	1,841	1,442	399
海外	21,127	20,183	943	1,149	1,766	▲617
その他	7,259	5,094	2,165	324	205	118
連結消去	▲1,934	▲1,857	▲77	▲3,349	▲3,184	▲164
合計	151,751	138,892	12,859	5,675	6,101	▲425

For the People

企業は
「社会のニーズを満たすため」
「人類の幸せに貢献するため」
に存在しているといえます。

吉野家ホールディングスグループは、国や地域を越えた世界中の人々のために企業活動を行います。

世界中の人々とはお客様であり、同じ志のもとに集う従業員であり、社会のすべての方々です。

「人」のためを考え、
「人」を大切にし、
「人」に必要とされたい。

お客様へお値打ち感のある商品をお届けしたい。
従業員とはやりがいのある充実した人生を共に歩みたい。
社会との共生を積極的に図り、地球環境を守りたい。
そんな吉野家ホールディングスグループでありたい。
『For the People』にはそのような思いが込められています。

すべては人々のために…。

本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。

お問い合わせ先

For the People
YOSHINOYA
HOLDINGS

広報・IR担当

Email: koho_ir@yoshinoya-holdings.com